

令和2年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市三和ふるさとの森	施設所管課	都市計画課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日
			(指定期間 5年 のうち 4年目)		
施設設置目的	ふるさとの森公園整備事業(県単補助)のコンセプトは「平地林の保全と活用」であり、自然環境を保持し、そのコンセプトを継承しつつ発展させ、利用者に安らぎと満足を与える公園として設置する。				
主な実施事業	園内緑地植栽管理・施設、遊具等維持管理・有料施設貸出、行為許可運営管理				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
365	20,481		1	16,312,497	16,493,706	16,027,350	466,356	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	ネーブルパークや古河総合公園、中央運動公園温水プール、斎場、ファミリーサポートセンターなど他の指定管理施設同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、管理運営を行ってまいりました。財政面でも健全であります。	A	団体としては、評議員会・理事会にて予算・決算等を審査しており、団体としての財務状況は健全である。また、市の条例における施設の設置目的や役割を理解し、遵守しながら管理を実施している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	①利用時間・開館日は協定書を遵守しております。また、利用案内をより見やすいものに変更しました。	A	利用時間や閉館日については、協定書、条例を遵守しながら公平性を確保して運営が来ている。予約方法や受付方法も創意工夫しながら適切に実施されている。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	②利用者からの問い合わせ、苦情等があった場合は迅速でかつ親切丁寧な対応を心がけてきました。 ③利用者アンケートを実施し、様々な意見の収集に努めました。	A	苦情、要望については、市に報告しながら迅速な対応が来ている。また、利用者のアンケートを実施して利用者の声を把握しながら市と協議をして改善できる事は改善している。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
		情報管理				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	⑤利用者の安全確保のために、日常的に園内巡回を行いました。巡回などによって発見された危険箇所については、状況に応じた処置(使用停止、通行止、応急処置等)を迅速に行いました。 ⑥コロナウイルス感染防止のため1日3回以上の園内巡視により三密防止の呼びかけ及び園内放送による注意喚起を行いました。	A	利用者の安全確保として新型コロナウイルスによる感染予防に関する周知を国、県、市のマニュアルを参考に実施し、利用者の安全確保を実施した。また、通常時における安全確保としては、園内巡視を1日3回程度、実施したり施設点検、遊具点検を実施し、安全を確保できた。
		・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している				
危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている	A	⑦「緊急時の連絡先」「事故・災害発生時対応マニュアル」「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定されています。 ⑧コロナ発生時に対応できるよう準備態勢を整え報告書を整備するなどコロナ対応マニュアルを制定しました。 ⑨三和交番との協議により、パトカーによる巡回を多くして頂きました。第二駐車場には監視カメラが設置されています。	A	危機管理体制については、マニュアルが策定されているのを遵守し、危機管理に関する訓練や研修も実施できている。また、新型コロナ対応マニュアルを制定し、危機管理体制を強化されている。	

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している	A	①万全な施設運営を遂行するため、職員、契約職員、委託業務員を効率的に配置しています。 ②労働基準法等関連法令を遵守した人事管理を行っています。	A	人員体制については、適正な配置と思われる。人件費についての設定については、指定管理者全体の人件費を踏まえて市の人件費担当課(職員課)や財政課等の関係各課との調整を行い、精査した。
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている	A	③e-ラーニングによる研修や専門家を招聘した救命救急講習、交通安全講習などを受講しました。	A	指定管理者内職員が資格を取ったり、各種研修等に参加して人材育成に努めた。利用者に対しても接遇に気を払い対応出来ている。
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	④毎日の清掃や巡回による確認や、保守点検を実施し、施設の維持管理に努めました。また、突然の害虫被害(カシナガキクイムシ)にも迅速に報告・協議し適切に対応しました。	A	園内の環境を良くするため、指定管理者職員が直営で原材料を購入して創意工夫して修繕等が実施できている。その他、施設の安全管理のため、軽微な修繕を13修繕実施し、維持管理に努めることが出来た。
	業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している	A	⑤業者の選定については古河市財務規則を準用するなどし、適切に選定しています。専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、業務の成果確認については、実地による現状把握のほか、各種報告書等の提出を受け、成果確認を行っています。	A	業務委託については、古河市の契約規則を準用して適切な業者選定が行われている。成果確認についても市条例等を遵守して実施出来ている。
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している	A	①市広報誌、出版社等が発行する旅行雑誌やタウン誌等情報提供し、PRに努めました。 ②独自のHPを活用し、ブログ等を積極的に更新しPRに努めました。	A	施設独自のホームページを開発して利用促進に努めている。
	施設の活用	施設の活用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる	A	③企画事業として、前年度に行った「犬の飼い方・しつけ教室」の回数を増やして行い、公園内のマナーアップやPRにも繋がりました。	A	施設の特性を生かした自主事業を実施して施設をの有効活用を図れた。
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	ふるさとの森に関わる会計は、他施設などの会計と区分して行っておりです。 利用料収入は、当初の見込みに達しませんでした。経費削減に努めました。また、修繕費については当初予算(50まん延)を超えた額を執行いたしました。	A	経費削減、収支バランスについては、コスト削減しながら実施されている。

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	本年度については、市との協議を踏まえ、危険な高木・枯木伐採、パーベキュー広場ベンチ等塗装、事務所脇デッキ板の張替え・塗装、芝生広場ベンチ移動・補修・池棧橋・周辺木道の修繕、昨年設置したパーベキュー広場のトイレに目隠し塀設置・周辺の整備を行い、美化及び安全性の確保に努めました。また、老朽化した看板を修繕・再利用し、お知らせ掲示板を第一駐車場脇に設置し、利用者の利便性の向上を図りました。今後も計画的に安心して遊んで頂けるよう修繕等を進めていきたいと考えております。また、アンケートにありました「炭床とゴトクの位置が遠い為、熱が伝わりにくい」といった声を受け炉の改善、新型コロナウイルスの対策で密を防ぐためにベンチの増設が次年度の課題となります。 有料施設の利用については、ホームページ、市広報誌、タウン誌等、積極的な宣伝やネーブルパークとの連携を図りましたが、新型コロナウイルスの全国的な広がりにより、施設営業や運営に多大な影響を与えました。しかしながら、古河市と協議しながら早急で的確な対応を行えたと考えております。
-------	---	--

所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	利用者アンケート結果をもとに職員が創意工夫しながら改善出来ていた。施設の維持管理においても低コストにて職員が自ら作業を実施して施設の維持管理に努めた。今後の当公園をどのような公園として活用していくか指定管理者としての計画をたて当公園の特色を生かした公園づくりの提案があるなど、工夫をしながら公園管理を行っている。 安全対策についても新型コロナウイルス感染予防を重視しながら利用者が安全に施設利用出来るよう園内放送による注意喚起や園内巡視、掲示物による注意喚起等を実施し、利用者の安全対策が実施出来た。
-----	--	---